

CTCグループのCSRアクションプラン

より本業に沿った実効性の高い活動の推進に向けて、
2011年度、アクションプランの策定枠組みと内容を見直しました。

担当部署 / グループ会社	CSR 目標	2010 年度アクションプラン
情報通信システム 事業グループ	安全・安心・便利なモバイル・ソリューション の開発・提供	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代通信規格LTEの実現に向けた通信各社への技術支援 ●テレマティクスサービス*の販売促進活動 ●クラウド環境におけるセキュリティソリューションの開発 <small>※テレマティクスサービス:自動車などの移動体に通信システムを組み合わせて情報サービスを提供すること</small>
金融システム 事業グループ	金融業界におけるITガバナンス強化と環境 負荷低減への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ●金融業界における法規制強化対応への支援 (HPCラボ*を活用した提案) <small>※HPCラボ:大量・高速計算基盤の検証環境</small> <ul style="list-style-type: none"> ●金融SOIT (Service Orientation of IT) コンセプトにもとづき、金融機関業務の効率化、高速化を実現することによる、環境負荷低減への寄与
エンタープライズシステム 事業グループ	お客様の業務効率化によるコスト削減、環 境負荷低減への寄与	●「クラウド」「仮想化/IT統合」ビジネスの拡大
CTCLS*	新薬の研究・開発に最適な、また薬の安全性 を確保するためのソリューションの提供	—
流通システム 事業グループ (NAIS*を含む)	食品・流通分野のお客様へのトータルソ リューションの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●「品質向上」「内部統制」「グリーンIT」をキーワードとしたシステムや機器の提案活動 ●お客様のシステム全般を見直し、省電力/省スペース/ハイパフォーマンスなシステムの提案活動とクラウドの提案、導入活動 ●お客様の帳票電子化による紙削減、配送コスト削減を提案促進
科学システム事業部	エネルギー・環境など、くらしの安全・安心 を支えるソリューションの提供	社会が抱える「エネルギー・環境に関わる問題」解決に対して、科学・工学の専門性とITをベースとしたソリューション(エネルギー・環境/低エネルギー・最適化/構造物の長寿命化・防災等の分野)を提供
クラウドプラットフォーム 事業グループ (CTCS*、CTCF*を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様の情報通信システムの安定稼働 ●各データセンター*における環境負荷低減 <small>※各データセンター: 横浜コンピュータセンター(YCC) 大手町インターネットデータセンター(OiDC) 渋谷データセンター(SDC) 目白坂データセンター(MDC) 神戸コンピュータセンター(KCC)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●新型インフルエンザ対策BCPの構築・運用 ●仮想化ホスティングサービス提供による顧客の消費電力削減への寄与 ●改正省エネ法対応/環境対策
FCC*	お客様コールセンターの安定稼働と維持	—
保守・運用サービス 事業グループ (CTCT*、CTCSO*を含む)	お客様システムの安定稼働の維持	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様システムの安定運用のためのBCPの確立 ●環境に配慮したシステム運用の提案
クロスファンクション グループ (CTCSP*を含む)	環境と法令遵守等に配慮した製品・技術・ ソリューションの提供	仮想化・統合化をはじめとする最新技術でのサービス、製品の提案・技術支援によるお客様IT環境の負荷低減への寄与

*は各事業グループ主管のグループ会社(P.03参照)

2010年度レビュー	達成状況	2011年度アクションプラン
次世代通信規格LTEの実現を含めた技術支援を通信各社へ実施するとともに、新サービスである「MAMS (Mobile Asset Management Service)」や「SecurePremium (mailASP)」、「コトログ (言語解析)」などの販売促進活動を実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンビジネスを中心に通信各社への技術支援を継続 ●モバイル通信関連の新規サービス/技術開拓 (データオフロード、デバイスマネジメントなど) を継続するほか、震災対策としてBCP (事業継続計画)、省電力ソリューションを推進
<ul style="list-style-type: none"> ●HPCラボ等を活用し、メガバンクや大手損保会社に対し、IFRSやソルベンシー規制に対応した基盤システムを提案し、一部構築も実施 ●金融SOITをベースにメガバンクグループの証券会社において、同グループ初となる本格的プライベートクラウドを導入し、業務効率化に貢献 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●金融業界における法規制強化対応への支援 ●金融SOITによるプライベートクラウドの提供、および独自のパブリッククラウドの提供により、金融機関の業務効率化を図り、環境負荷低減に貢献 ●金融機関における震災対応として、在宅勤務のための仮想デスクトップインフラ構築や、データセンターを利用したDR※サイト構築 <p>※DR (Disaster Recovery) : 自然災害や人為災害などで被害を受けたコンピュータシステムを、速やかに復旧すること</p>
「クラウド」「仮想化/IT統合」のビジネスは、受注ベースで100億円弱の規模に拡大	○	「クラウド」「仮想化/IT統合」ビジネスを推進し、年間の受注ベースで昨年度比増を目標
—	—	薬の研究・開発を効率化し、生産管理を改善、および安全性を確保するソリューション提供のさらなる推進
<ul style="list-style-type: none"> ●段階的なサーバ統合、仮想化、システム統合によるペーパーレスや省電力機器への入れ替えを実施 ●お客様システムの最適化提案、導入活動を実施し、廃棄物や配送回数削減を実現 ●2009年度よりサービスを開始した帳票電子化の提案促進により、5件のユーザ導入を実現 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様のシステム全般を見直し、「品質向上」「グリーンIT」をキーワードに省電力/省スペース/ハイパフォーマンスな機器やシステム、クラウドの提案と導入活動を実施 ●お客様の帳票電子化による紙削減、配送コスト削減、コールセンター効率化に貢献する提案と導入支援活動を実施
新エネルギービジネスを拡大し、社会基盤関連では橋梁の維持管理システムの構築、製造業関連では設計効率化のシステムを構築	○	地球環境、エネルギー、防災等の分野で、専門技術とシミュレーション技術をベースとした、ソリューション (エネルギー・環境/低エネルギー・最適化/構造物の長寿命化・防災等の分野) の提供を強化
<ul style="list-style-type: none"> ●新型インフルエンザBCP更新完了 ●TechnoCUVICシリーズ (仮想化ホスティングサービス) 利用は50案件超、仮想サーバ数は600サーバ超を達成 ●改正省エネ法 (YCC、O i DC、SDC、MDC、KCC)、東京都環境確保条例 (O i DC、SDC)、兵庫県特定物質排出抑制計画 (KCC)、横浜市地球温暖化対策 (YCC) の各種報告書を提出完了 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●仮想化ホスティングサービス提供による顧客の消費電力削減への寄与 ●BCP (大震災) 対応の更新 ●節電対応 (電気事業法第27条対策) および省エネ機器更新 ●お客様へのサービス品質向上
—	—	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様コールセンターの安定運用のため、BCPの強化 ●コールセンター運用におけるお客様の預かり情報 (個人情報含む) 管理の強化
<ul style="list-style-type: none"> ●運用領域へのBCPの展開 ●サーバ統合などのシステム運用に関する運用支援の営業展開と実運用の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様へのサービス品質向上 ●BCPへのさらなる取り組み (節電・停電)
<ul style="list-style-type: none"> ●仮想化・統合化、クラウド、環境関連におけるソリューション等、最新技術を用いた提案・支援を加速 ●製品・サービス・SIにおける品質等管理の強化 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●仮想化・統合化、クラウド、災害対策、環境関連ソリューション等、最新技術を用いた提案・支援の強化 ●製品・サービス・SIにおける品質等管理の強化

達成状況: ○…達成 △…着手したが不十分 ×…未着手